

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		放課後子ども教室事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原哲也
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	渡辺紀子
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1513
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番10599	法令根拠	熊本県放課後子どもプラン推進事業費補助金交付要項合志市放課後子ども	成果優先度評価結果：⑧ コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	西合志第一小学校の児童を対象に、放課後の安全な居場所づくりを目的として、学習活動や体験活動、地域住民との交流などの取組みを実施する。平成19年度、国が新たに放課後子どもプラン事業を創設した。合志市では、市内の小中学校のうち児童保育事業を行っていない西合志第一小学校で、新規に「放課後子ども教室」を開設することになった。地域で取り組む子育ての事業として、文科省の委託事業で「地域子ども教室」が平成16年度～18年度行われていたが、その終了後、新たな文科省の補助事業として「放課後子ども教室事業」に取り組むべくことになった。また従来の厚労省補助事業である「放課後児童育成事業(学童クラブ事業)」との連携協力も求められることになった。
【業務の流れ】	木曜日には学校の空き教室、土曜日には合生文化会館を利用し学校の教職員または地域の講師により、学習補完活動や文化活動、様々な体験活動を実施する。
【主な予算費目】	報酬、旅費、消耗品費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	「子どもの居場所作り」が第一目的である。そのため、参加人数が多いに越したことはないが、できるだけ定期的に行って、続けていくことが肝要である。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 運営委員会② コーディネーター打ち合わせ会議③ 教室の開催(毎週木曜日、土曜日を年に4回)			
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 放課後子ども教室の実施回数	回	事業の移行による削除	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
西合志第一小学校の全児童		→ ア 西合志第一小学校児童数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
児童の放課後の安全な居場所を作る		→ ア 教室に参加した児童(延べ人数)	人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 地域の方々が協力して教室を開催し児童の教育力向上と地域住民との交流が図れたことを参加者数として設定した。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	35	30	41	26	0	0	0
	イ								
② 対象指標	ア	人	96	94	94	89	0	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア	人	753	591	650	650	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	136	97	157	170		
		都道府県支出金	千円	136	97	157			
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	136	98	157	191			
人件費	(A) 事業費計	千円	408	292	471	361	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	1,000	995	995	1,648	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,408	1,287	1,466	2,009	0	0	0	

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	放課後子ども教室事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 やり方も含めて、学校地域本部事業へ移行し、わくわく木曜教室も取り込み、より充実した内容に変えていく必要がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 地域ボランティアの協力を募り、講師謝金をできるだけ節減することで事業費削減につながる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委嘱したコーディネーターが企画・運営をし、正職員は事業費の管理を行う。それによって、時間外勤務などの人件費は極力出さないようにすることができる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 放課後子ども教室においても、受益者(教室参加者)からの一部負担を求めることもあり得る。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域住民への協力要請が必要である。 企画・運営に関しても、コーディネーターに行ってもらおう。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

学校行事等の影響のため、予定回数を下回った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			△	低下		△	△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			△																		
	低下		△	△																		
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 コーディネーターの存在が重要となるので、人材がいるかどうか課題である。まずは、現在の学習アドバイザー等に依頼をする予定。																						